

200610 土佐湾 M4.6 について

広島と米子のデータが長くつづき、中国地方に中規模地震の発生を予想していましたが 6月10日0時すぎに 高知県の土佐湾を震源にした M4.6 の地震が発生しました。広島と米子のデータの大きさと収束のタイミングからは この地震が該当しますが震源の位置が四国の太平洋側であり、残念ながら震源の位置に関しては、予想はあたらなかったと考えます。

このように、異常の出た観測点の位置と震源の位置が大きくズレることはいままでも関西から西側に多く、これは関西～九州にかけて地下のプレートがいくつか交差する複雑な構造に起因する可能性があります。関東から東北のように 大きな北米プレートの上に乗っているような構造と違い、地震予知を難しくしている可能性が考えられます。会員の皆様に毎週、定期的を送っている、逆ラジオ通信では 6月3日通信で 広島に関し、5/27+14 広島周辺 100 k m 範囲 M4.5±0.5 程度と予測継続、としてまた米子は 5/27+14 米子周辺 100 k m 範囲 M4.0±0.5 程度と同じく予測継続としており、さらに（広島と）米子とは同一地震かも知れません、と言っています。

また四国に関しては 高知・徳島周辺の地下のマグマの動きについて、と、5/17 紀伊水道 M4.5 印南 47 k m 室戸岬 66 k m 4.7 の予兆について言及しているだけで高知の地震については残念ながら何も言っておりません。

以上のことから 今回の 6月10日土佐湾 M4.6 については、5/27+14 広島周辺 100 k m 範囲 M4.5±0.5 程度、という範囲には入りますが 残念ながら震源をはっきり当てられず、この方面の観測点はまだ極めて少ないこともあります。地震予知がうまく出来なかった事例と考えます。

~~~~~

参考（6月3日）逆ラジオ通信 No.21W-200603 日号 《20.06.03 配信》

中国地方

●継続予測：【広島】で 4月初めのピークを含むデータ群が 5月末にほぼ収束したようです。

「5/27+14 広島周辺 100 k m 範囲 M4.5±0.5 程度」と予測継続します。

米子と同一地震かも知れません。

（データ広島 12 米子 180 日参照）

●継続予測：【米子】に 3/21 をピークとする山型データが出てリバウンドも 4/14 収束したようでしたが もう少しのようです。小地震と思われますが

「5/27+14 米子周辺 100 k m 範囲 M4.0±0.5 程度」と予測継続します。

●【岡山 SD】【岡山真庭】【山口周南】には大きい地震予兆データは見られません。

---

四国地方

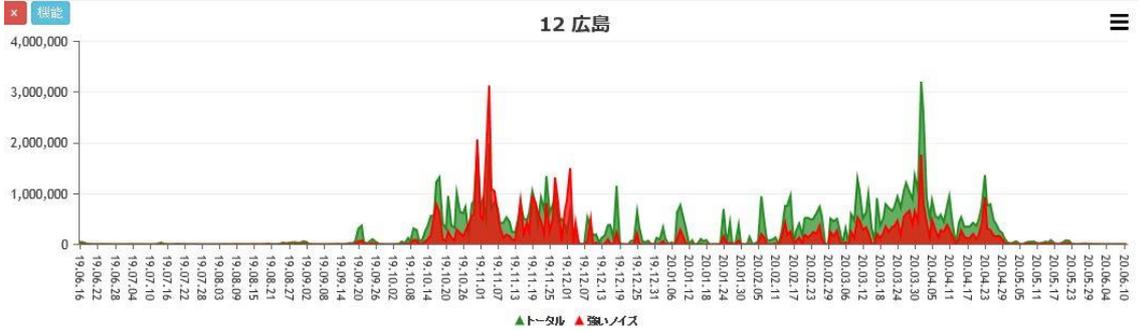
●【高知市介良 449】は 2017/10/7 よりデータの型が変動し

【高知高須 F536】（新規）【高知五台山 G537】（新規）も同期しているので、高知・徳島周辺の地下のマグマの動きを検知している可能性も考えられますがマグマ溜まりがどこかわかりません。

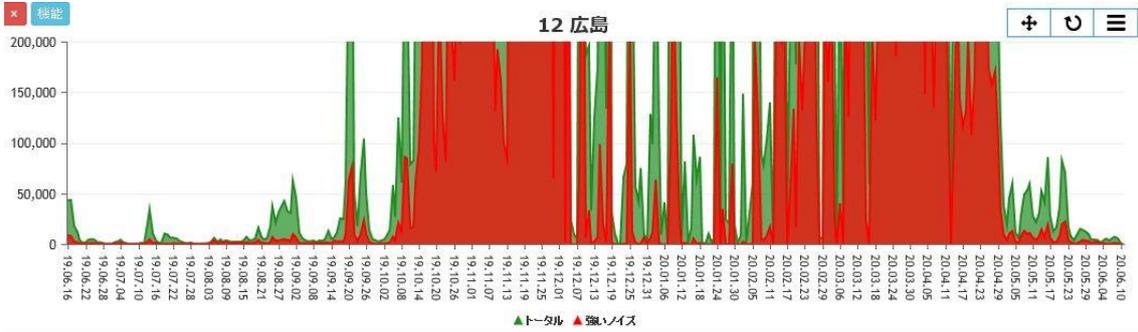
- 検討結果：なお、6 ヶ月日毎データでみると 4/8 印南と室戸岬町に同期データがあり、これが「5/17 紀伊水道 M4.5 印南 47 k m 室戸岬 66 k m 4.7」の予兆だったと思われます。

参考データ

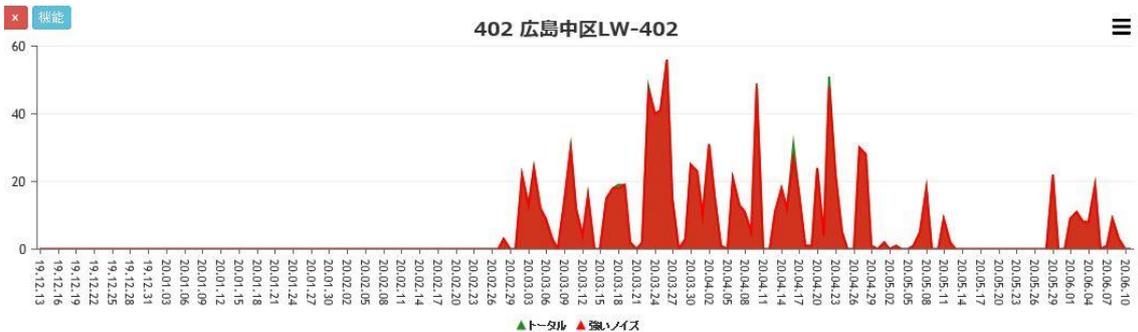
広島 360 日 (日毎) データ

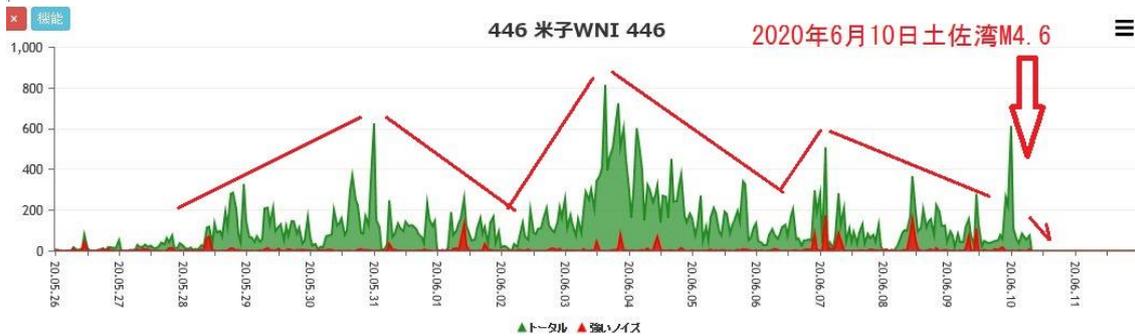
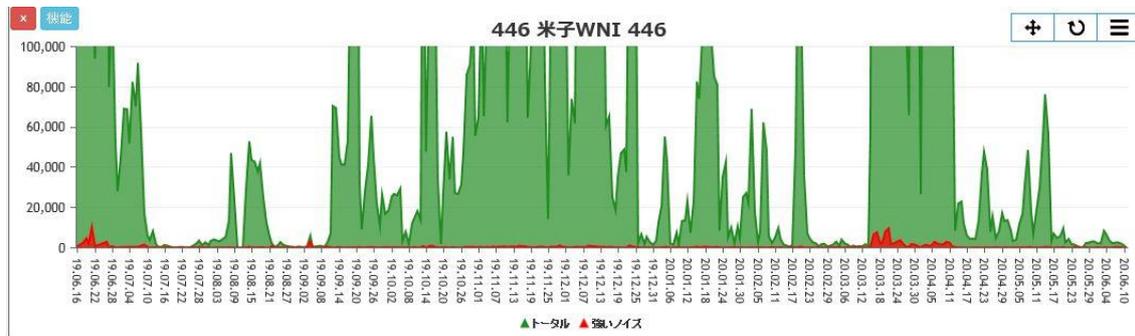
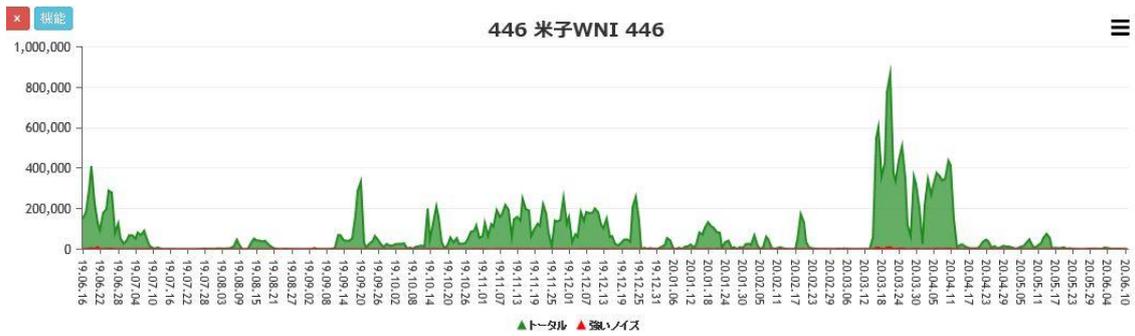


広島 360 日 (日毎) 拡大データ > 約 1 年間のデータが収束してきている。

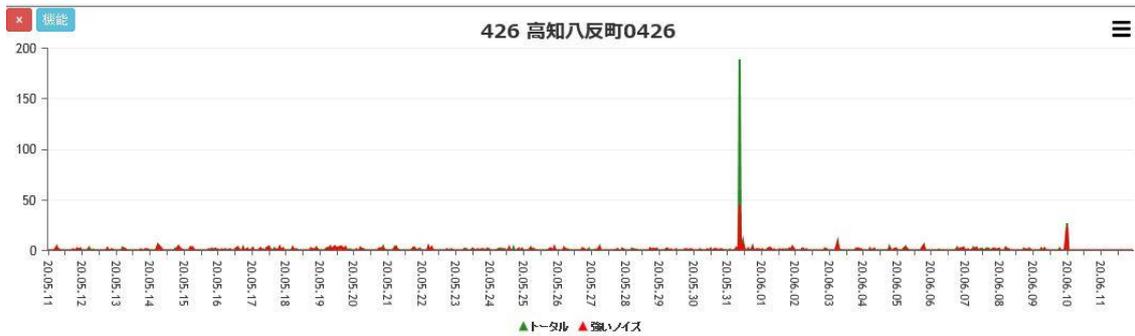


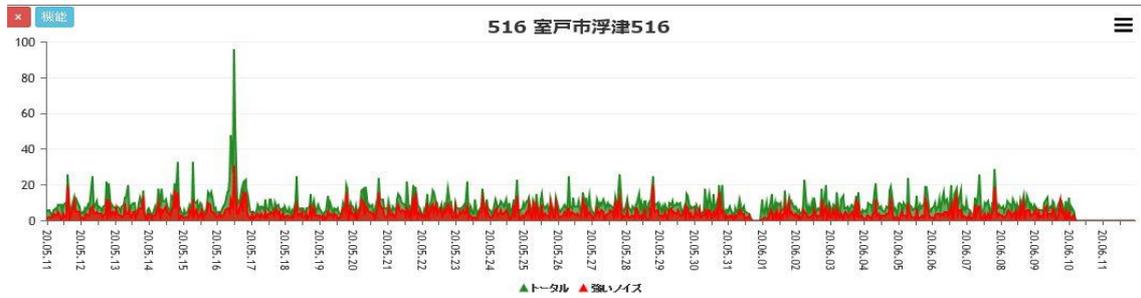
広島 15 日時間毎データ >



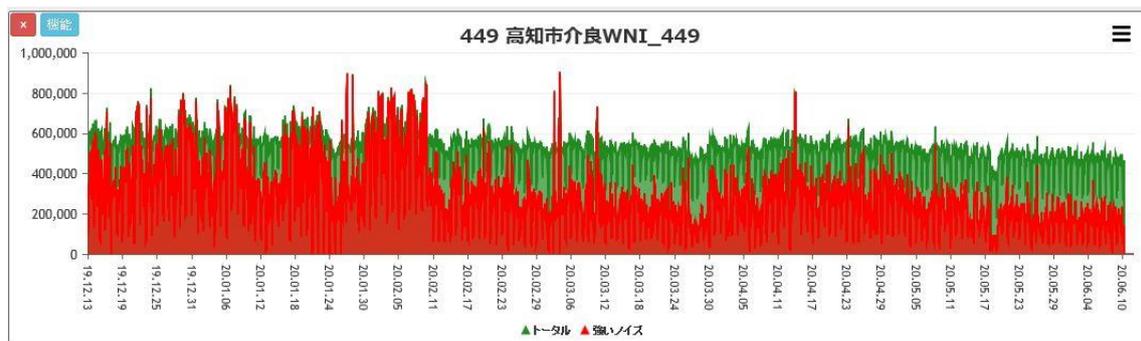


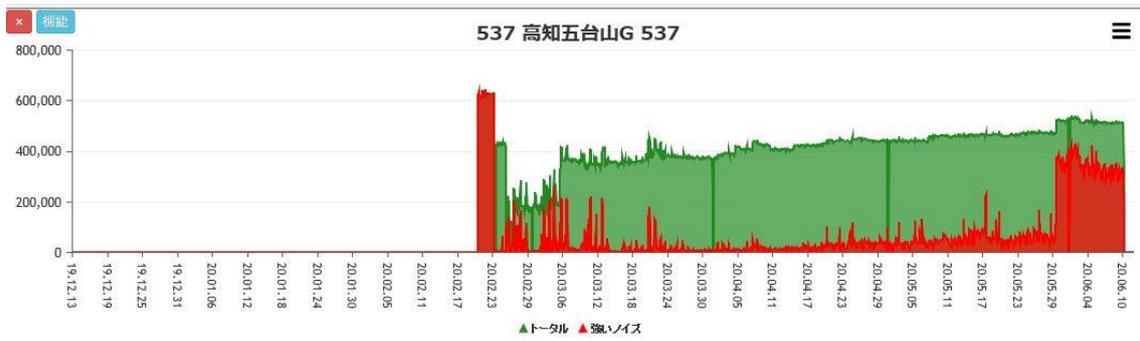
以下、高知県内のデータ



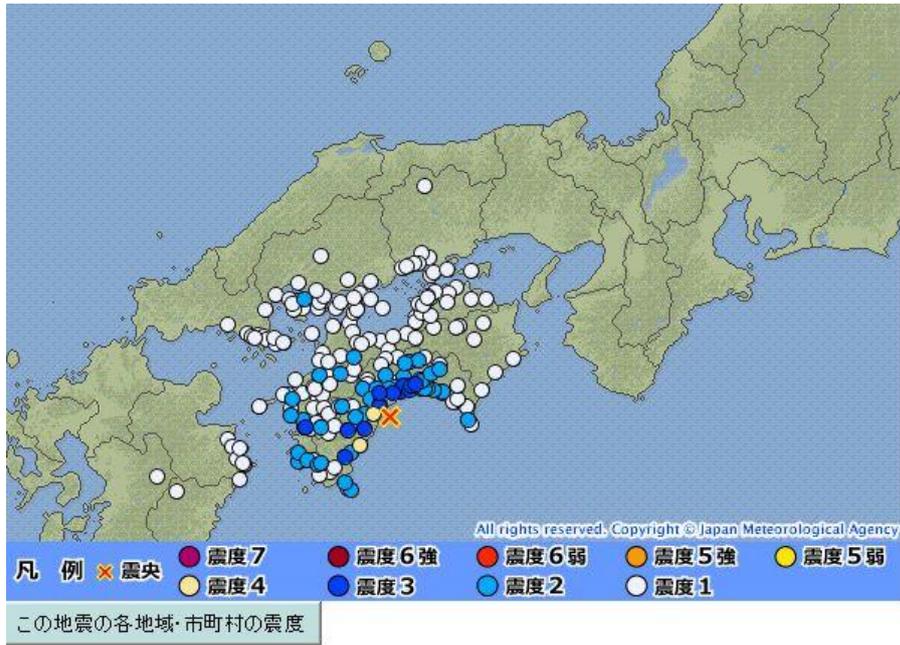


大きな長期データが続く観測点 高知市介良、高知市高須、五台山については  
今回の地震に関連するデータは見られなかった。





地震発生>2020年6月10日土佐湾 M4.6



各地の震度に関する情報  
 令和 2年 6月10日00時26分 気象庁発表

10日00時22分ころ、地震がありました。  
 震源地は、土佐湾（北緯33.3度、東経133.4度）で、震源の深さは約20km、地震の規模（マグニチュード）は4.6と推定されます。

